

## 水辺環境の保全・活用と連携について

地球環境問題として、脱炭素や生物多様性ととも、SDGsのゴール6である「水」についても、企業活動との関係に対する市民や投資家の関心がかつてないほど高まっています。これらの問題について企業はどう取り組めばよいのでしょうか。どのように様々なステークホルダーと対話すればよいのでしょうか。

「グッドプラクティス塾」は、ウォータープロジェクト参画企業が、新しい知見やそれぞれの取り組みの共有などを通じ、各社が『水で選ばれる』ことを目指す場です。

2021年度の第4回目は国立環境研究所 気候変動適応センターの西廣淳氏をお招きし、水辺環境・湿地環境の保全・活用における官民連携の方策や取組の進め方についてうかがいます。さらに、麻機遊水地保全活用推進協議会から麻機遊水地における官民連携による自然環境保全・再生の取組について事例発表いただきます。その後質疑応答・意見交換を行い、今後の取り組み方について掘り下げます。

### 【プログラム】

挨拶・説明 環境省

#### ① 講演

国立環境研究所 気候変動適応センター  
西廣淳氏

② 事例発表 「麻機遊水地での取組」  
麻機遊水地保全活用推進協議会

③ 質疑応答・意見交換

### 【今回の講師】

● 国立環境研究所 気候変動適応センター  
気候変動影響観測研究室 室長 西廣淳氏



プロフィール：

1971年生まれ。国交省土木研究所 研究員、東京大学農学生命科学研究科助教、東邦大学理学部准教授などを経て現職。理学博士。専門は生態系を考慮した気候変動適応や、湿地の生物多様性保全・生態系修復。

日時	3月2日（水）10時30分～12時00分
開催方法	オンライン開催（Zoom ウェビナー）
参加対象	ウォータープロジェクトに参画中、または参画を検討している企業、自治体、民間団体の方で、特に、以下のような方におすすめです ● 水辺環境の保全・活用とは具体的に何をすればよいのか、どのように連携をすればよいのか、担当者として悩んでおられる方 ● これから官民の連携により取組を始めたいとお考えの方
申込方法	氏名、所属、メールアドレス等を下記URLのフォームに記入し、お申込みください。フォームからのお申込みができない場合には、メールにてお問い合わせください。 <a href="https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_uKRsl6CYQFSSOXutRhtmfA">https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_uKRsl6CYQFSSOXutRhtmfA</a>
お問合せ	event@watercycle.jp

### グッドプラクティス塾について

「水に関して、何にどれくらい取り組むべきかを考え、その実態についていかに伝え、各ステークホルダーといかにコミュニケーションを深めるかを考え、もって『水で選ばれる』の実現を目指す」を目的に、民間企業等が「水」に関する互いのグッドプラクティスを共有し、それぞれの取組をブラッシュアップする場として、2019年4月に始動しました。今年度は計4回の開催をいたしました。

#### これまでのテーマ

第1回（令和3年11月10日開催）  
「水×SDGsメソッド」

第2回（令和3年12月24日開催）  
「企業活動と水リスク」

第3回（令和4年2月25日開催）  
「水のサプライチェーンマネジメント」